

三宅島近海及び新島・神津島近海を震源とする地震（第15報）

平成12年7月7日
17時00分
消 防 庁

1 地震の概要及び被害の状況（気象庁発表 平成12年7月1日16時02分震度6弱）

(1)地震の状況

- ① 発生日時 平成12年7月1日16時02分頃
- ② 震央地名 新島・神津島近海(北緯34.2度、東経139.2度)
- ③ 震源の深さ 約15km
- ④ 規 模 マグニチュード6.4(推定)
- ⑤ 各地の震度 (震度4以上)
 - 震度6弱 東京都 神津島村金長、神津島村役場
 - 震度5弱 新島村本村
 - 震度4 東京都 三宅村神着、三宅村阿古2
静岡県 河津町田中
- ⑥ 津 波 この地震による津波はなし

(2)人的・物的被害状況

- ① 人的被害 神津島村 32才男性1名死亡(土砂崩れによるもの)

② 物的被害

神津島村 村内各道路に損壊発生
都道16箇所
村道5箇所
林道2箇所
土砂崩れ崖崩れ 与種地区 10箇所
追地地区 17箇所
上の川地区 11箇所

河川施設2箇所
土砂崩れにより神社本殿崩壊
家屋一部破損15棟
墓石転倒170基
ブロック塀17箇所
断水20戸(5日全戸復旧)

新島村 (新島) 落石4箇所
土砂崩れ10箇所(海岸の崖部分)
墓石転倒150基
家屋一部破損5箇所
浄化槽破損(地域休養施設)

(式根島) 崖崩れ6箇所
地割れ1箇所
落石5箇所
水道管破損7戸(復旧済)
ブロック塀倒壊8箇所
家屋一部破損3棟
倉庫倒壊1棟
倉庫損壊2棟
焼却炉の煙突1本破損

三宅島村 (7月1日震度6弱発生以前分含む)

家屋一部破損18棟
道路亀裂等10箇所
土砂崩れ2箇所
断水 阿古地区
伊ヶ谷地区 合計997戸
伊豆地区

2 避難勧告等の状況（7日17時現在 避難総数285世帯853名）

(1)避難指示対象

神津島村 30世帯108名

(2)避難勧告対象

神津島村 255世帯745名（7日8時30分追加）

(3)避難場所

- ① 神津島村福祉センター（神津島村903番地）
与種地区 4世帯4名
追地地区 5世帯12名
矢割地区 1世帯2名

合計 10世帯18名避難

- ② 神津高校体育館（神津島村1620番地）

47世帯88名避難

(参考)各島の人口

三宅村	1,911世帯	3,783人
神津島村	812世帯	2,275人
新島村(新島)	980世帯	2,577人
(式根島)	264世帯	581人

3 災害救助法の適用状況

東京都神津島村(平成12年7月1日適用)

4 都・村の災害対策本部等の設置状況

1日	16時02分	東京都情報連絡体制
	16時02分	神津島村災害対策本部設置

5 消防庁・消防機関の対応

(1)消防庁の体制等

1日	16時07分	消防庁災害対策本部設置
3日	10時30分	消防庁災害対策室へ移行(第1次応急体制)

(2)消防庁の対応

震度4以上を記録した東京都に対し、適切な対応及び被害報告について指示するとともに、当該地域を管轄す

る村役場に直接被害状況を問い合わせた。その状況は以下のとおりである。

- | | | |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日 | 16時02分 | 震度情報ネットワークシステムにより地震を覚知(震度6弱) |
| | 16時05分 | 東京都に対し適切な対応及び被害報告について指示 |
| | 16時07分 | 静岡県に対し適切な対応及び被害報告について指示 |
| | 16時40分 | 震度4以上を記録した消防本部等に「119番通報状況を確認。」
・静岡県下田地区消防本部「被害なし。」
・三宅島村役場「被害なし。」
・大島町消防本部「被害なし。」
・神津島村役場「土砂崩れで1名負傷。」
・新島村役場「被害状況調査中。」 |
| | 17時46分 | 静岡県より第1報受領「現在のところ被害なし。」 |
| | 21時32分 | 東京都より第1報受領「被害あり。」 |
| | 21時52分 | 東京都より第2報受領「被害あり。」 |
| 2日 | 19時00分 | 東京都より第3報受領「被害について追加。」 |
| 4日 | 14時19分 | 東京都より第4報受領 |
| 6日 | 20時45分 | 東京都より第5報受領 |

(3)都における対応状況

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 30日 | 神津島村へ大島支庁職員2名を派遣(7日現在5名活動中) |
| 1日 | 神津島村へ都本庁職員24名を派遣(7日現在2名活動中) |
| 7日 | 神津島村へ三宅支庁職員11名を派遣(活動中) |

(4)神津島村の対応

- | | |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日 | 災害対策本部設置(日中80名、夜間6名体制 継続中)
自衛隊派遣要請を都に要求
追地、与種地区に避難命令(後で避難呼び掛けに変更)
追地、与種地区に避難勧告 |
| 2日 | 追地、与種、上の川、向山地区に避難指示
自衛隊撤収要請を都に要求 |
| 3日 | 向山、矢割地区に避難指示 |
| 4日 | 川原地区に避難指示 |
| 5日 | 鉄砲場地区に避難勧告 |
| 7日 | 台風3号接近に伴い、避難勧告地域を拡大 |

(5)消防団の活動

- | | | |
|----|--------|----------------------------------------------------------------------|
| 1日 | 16時02分 | 新島消防団団長以下3名役場待機 |
| | 16時02分 | 式根島消防団班長以上20名式根島支所待機 |
| | 16時15分 | 神津島消防団80名により災害箇所確認作業実施 |
| | 18時35分 | 神津島消防団40名により道路障害物除去作業実施 |
| | 22時10分 | 神津島消防団11名により島内巡回 |
| 2日 | 8時30分 | 三宅島消防団、村職員60名が5班編成で島内巡回実施 |
| | 13時00分 | 神津島消防団団長以下100名・村内ブロック塀倒壊部分危険個所の撤去、崩壊危険のある個所の土砂撤去作業及び傾斜地の亀裂部分のシート張り実施 |
| 3日 | 8時30分 | 神津島消防団70名により応急措置作業実施 |
| 4日 | 9時00分 | 神津島消防団120名により応急措置作業実施 |
| 5日 | 9時00分 | 神津島消防団10名により応急措置作業実施 |

(参考)各村の消防体制

三宅村	三宅村消防本部	職員 12名 団員135名	積載車1台、救急車2台 ポンプ車4台、積載車5台
神津島村	(非常備)	団員229名	ポンプ車2台 積載車6台 救急搬送用車両1台

新島村(新島・非常備)	団員168名	積載車8台 水槽車2台
(式根島・非常備)	団員 53名	積載車3台

(6)東京消防庁における活動状況

27日	0時00分	三宅島火山活動による派遣隊支援本部設置
1日	16時10分	新島・神津島近海を震源とする地震発生により派遣隊支援本部体制強化
	16時38分	東京消防庁ヘリにより情報収集出発
	17時48分	東京消防庁ヘリにより神津島村助役等と、上空から被害状況調査 (18時25分終了)
	18時15分	東京消防庁ヘリにより救助隊及び救急救命士を派遣
	19時20分	東京消防庁ヘリにより救助隊及び救助資機材を搬送
2日	6時20分	救助隊員等神津島村で活動(17時30分帰還)
	8時30分	島内の危険物関係の被害状況調査のため、東京消防庁職員を神津島へ 派遣(15時15分帰還)
	19時00分	東京消防庁三宅島火山活動及び新島・神津島近海地震に伴う派遣隊支援 本部閉鎖

6 自衛隊の派遣要請

1日	16時37分	東京都から自衛隊派遣要請
	16時37分	航空機による神津島上空偵察を実施
	以降順次	陸自によりヘリ伝送を実施 海自護衛艦にて36名上陸 陸自により偵察要員、医官等6名、第一師団32名、資機材等を搬送 海自、医官5名を輸送 陸自により警視庁人員約80名を空輸
2日	17時30分	東京都から自衛隊派遣について撤収要請

問い合わせ先 震災対策指導室 専門官 吉本 事務官 千葉 TEL 03-5574-0127(直通) 03-5574-7111(代表) 内線 6711,6731
